

川の市民情報



国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM 事務局 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL 045-503-4015 FAX 045-503-4092 E-Mail keihia50@ktr.mlit.go.jp

ホームレス調査・指導 をおこないました！

京浜河川事務所では、日本APEC首脳・閣僚会議の開催に伴い、日常の河川巡視に加え、開催場所（横浜市）を管轄する河川事務所として連絡体制の確立を行い、ホームレス対策や不法係留船等の対策を所轄警察署及び関係市町村と協力しながら、管内の合同巡視を実施するなど、警備強化のための取り組みを積極的に行いました。

ホームレスの調査・指導の様子などを紹介します。



多摩川中流域になると少し開けてくる。それでも雑草の中、蚊は少し減る。



多摩川上流域は藪の中にいる方が多い。今年はいつまでも暑かったせいか、ヤブ蚊が凄かった。



多摩川も下流域になると住みやすいのか、ホームレスの数はとても多い。



鶴見川・相模川は、多摩川に比べホームレスの数は少なく、様子も異なる。



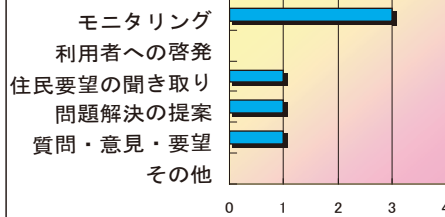
鶴見川

相模川

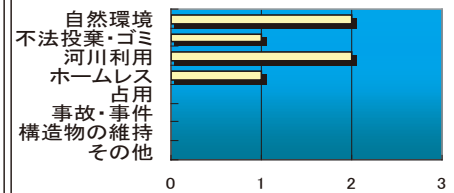
RCM 活動報告 平成 22 年 10 月

管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	10人	0人	0件
鶴見川上流	7人	0人	0件
多摩川下流	10人	0人	0件
多摩川中流	12人	1人	1件
多摩川上流	7人	1人	1件
相模川	5人	0人	0件
浅川	11人	2人	2件
合計	62人	4人	4件

連絡内容



対象分野



平成 22 年 10 月は、4 件の報告をいただきました。ありがとうございました。

RCM 小林直吾さんからの報告

1. 土手の草刈りの件

今年は、土手の草刈りを 3 回から 2 回にするとのこと。国土交通省の関係部署に確認したところ、予算削減の一つとのことでしたが、全体予算の中で草刈りを一回少なくすることの費用削減額は、微々たるものだと思います。

土手の草刈りを実施してあると、不法投棄が少なくなります。また地域ボランティアのゴミ拾いが、しやすくなります。土手のゴミの中には、タバコの吸い殻がたくさんあり、秋の（草刈り）中止は枯れ草火災が心配です。

場所により、2 回で良いところもある（例えば同所の左岸）と思います。ぜひ、右岸については再検討をし、地域としては例年どおり 3 回目の草刈りの実施をお願いします。

2. 自然環境の変化

今年は非常に暑い日が続きました。散策範囲で気が付いた、例年との違いを報告します。

- 1) ねむの木に多くの花が咲き、種を付けました。この十年初めてのことです。
- 2) 彼岸花の咲くのが一週間遅れ、すすきの花がまだ咲きません。
- 3) ガビチョウ（中国原産の鳥？）が、多数見られるようになりました。
- 4) 川鵜が例年より多く、近年になく多く確認された。アユが食べられて最近は見えなくなりました。

3. 浅川の増水量の確認方法について

浅川の増水量をホームページの浅川橋で確認していますが、河口での増水量との差が大きい。これは南浅川水量が加わっていないためだと思います。ふれあい橋の少し上流にある観測所のデータをみたいと思いますので、その方法を教えてください。お願いします。

堤防の除草は、堤防の異常（亀裂、陥没等）の早期発見や強度維持のための堤防点検前（梅雨時期前と台風期前）に実施しています。これまでは治水上の目的に加え、ゴミの不法投棄の抑制、河川利用の利便性の向上、地域によっては花粉症対策や特定外来種の駆除に配慮し、年 3 回以上の除草を実施してきましたが、平成 22 年度からは予算の削減を受け、治水上最低限必要な年 2 回に見直しを行っています。

河川の維持管理を行う費用のうち、堤防除草の経費は約 4 割と大きなウェイトを占めており、除草の回数と除草後の集草回数を見直しています。その他、河川敷のゴミの処分や護岸や階段の補修、施設の点検頻度の見直しなど、安全安心のレベルが低下しないよう様々なコスト削減を実施しているところです。

浅川の水量は、ホームページの一番下にある「水情報国土データ管理センター」の中に情報があります。「川の防災情報」ではリアルタイムです。「水分水質データベース」では過去のデータを見ることができます。ご要望の観測箇所は高幡橋（ふれあい橋上流）です。いくつか検索方法がありますので試してみてください。

RCM 事務局より

川面に吹く風も冷たく感じます。河岸の広葉樹も随分と色づきました。11 月に入り、平面占用の履行検査が行われています。高水敷の多くがグラウンドや公園などに利用されています。それらが安全に、きれいに利用されているか現地で占有者と立ち会います。日だまりは暖かいのですが、風の通り道は、寒さが身に凍みます。インフルエンザや風邪が流行る時期になりました。暖かくして川を見てください。 RCM 担当 埜